

問合せ 議事課 (内線 351)

## 市民と議会との意見交換会を開催しました

会場	担当委員会	参加延べ人数
宮田地区 学習等供用施設	総務委員会	54人
中央コミュニティ・ センター (老人福祉センター)	建設産業委員会	35人
布袋ふれあい会館	厚生文教委員会	30人

江南市議会では、市民の皆さんから直接ご意見やご提案をいただき、議会として積極的な政策提言を行うため「第4回市民と議会との意見交換会」を、1月23日(土)および24日(日)午前10時から、宮田地区学習等供用施設、中央コミュニティ・センター(老人福祉センター)、布袋ふれあい会館で開催しました。

当日は、3会場で119人の市民の皆さんにご参加をいただき、議会からの平成26年度決算報告の後、活発な意見交換が行われました。

意見交換会の内容は次のとおりです。

### ▼新ごみ処理施設について

**問** 一部地元区への反対もあり、課題の解決が長引いている。具体的な争点はどのような点にあるか。

**答** 江南市が新たな候補地を提案しましたが、事前の説明等がなく突然候補地とされたという地元の認識とその場所が扶桑町境であったことが一因と考えています。

**問** 現在の施設は、毎年多額の修繕費が必要となっている。このまま先伸ばしにするのではなく、反対を押し切って建設を進めていくべきではないか。

**答** 4首長が揃って地元区との話し合いの場を設けるなど、地元同意に向けた努力を現在も継続しています。今後の対応についても、4首長が協力して取り組むこととしています。

**問** 2市2町の首長の合意形成はできていますか。また、なぜ計画が進まないか。

**答** 合意形成はできていますが、ごみ処理施設の候補地に反対する扶桑町の一部の地区に対して、今年度内を目標にブロック会議として合意が得られるように進めています。

**問** 現在、ごみ処理施設の対策に当たっている職員は何人か。

**答** 江南市は3人体制で、小ブロック会議では、2市2町から各1人の4人体制で進めています。

**要望** マイルストーン(物事の進捗を管理するために途中で設ける節目)をしっかりと決めて進めていただきたい。

**問** 可燃ごみ置き場のネット強度について青色と黄色の可燃ごみ置き場のネットがあるが、1年余りでカラスに破られてしまうので強度を上げることはできないか。

**答** 可燃ごみ置き場のネットの強度を上げるよう要望していきます。



**問** ▼地域の公共交通機関の整備についていこまいCARの予約便の現況と、地域の公共交通の将来性について、どう考えているか。

**答** 平成26年度の実績では、5万7285人で、延べ6万7932人の利用がありました。地域の公共交通の在り方については、3年前から他市町が運用している巡回バスも含めたうえで、費用対効果などを考えながら総合的に論議されていますが、平成28年度からは、本格的な検討が始まる予定です。

▼超高齢化社会への対応について

**問** 高齢化が進むにつれて、様々な課題が出てきている。市内には特別養護老人ホームが何施設あり、入所できない待機者がどの程度いるか。

**答** 市内には特別養護老人ホームは5施設あります。(5施設の定員350人に対し、待機者数は後日確認したところ、重複申請も含め約1700人でした) ▼高齢者福祉について

**問** 高齢者向けの運動教室の充実を図ってほしい。

**答** 現在、高齢者いきがい課、保健センターおよび地域包括支援センターが協力し合って、学習等供用施設などで、高齢者向けの運動教室を開いて介護予防に当たっています。今後は、公民館等を利用して運動教室が開かれるよう市へ働きかけていきます。



▼新体育館・新図書館について

**問** 新体育館・新図書館について検討がされているが、新しく建設する必要等はどのように考えているか。また、具体的に現在どのような進捗状況か。

**答** 新体育館は、現在の市民プールの位置に建設します。市営グラウンドは建設資材等の保管場所となるため、使用できなくなります（野球は企業のグラウンドを借用する予定です）

新図書館は、昨年度、議会でも特別委員会を設置して検討を重ねてきました。

しかし、新しい図書館建設の必要性は認めながらも、現在のところ具体的な設計計画等の策定に至っていません。

そのため、現在の図書館をいかに有効活用し、利用しやすくしていくか、運用面での改善を市当局へ要望しています。

**問** プールを壊して体育館を建設することについて、ただ聞いてはいるが、具体的な構想がまったく分からない。どうなっているか。

**答** 現在のプールを壊した跡に新体育館を建設する計画で進んでおり、現在の体育館は、新体育館完成まで継続します（平成28年度中にプールの解体に着手し、30年5月に供用開始を予定しています）。ちなみに、プールの廃止は、昨年の12月議会で議決しています。体育館も含め、建設費用もかなりの高額が予想されるので、ごみ処理施設、図書館、布袋駅の鉄道高架などと同じく、プールも大きな公共事業であり、重要な課題の一つです。

**問** 図書館の問題は何があるのか。

**答** 平成12年を目指して図書館を建築する動きがあったが、その同時期に下水道工事もあわせて進めて、繋ぐ計画があったが、2年間の遅延が発生し、計画が頓挫した経緯があります。一昨年にバリアフリー化、近隣の土地を購入するために建設基金を取り崩しました。その行為に対して議会側から問題提起をし、建設基金は新図書館をつくるために残すよう多数の意見が出ました。もう一度、図書館問題を協議するための特別委員会を設置されました。指定管理やどういった図書館にするかが今後の検討課題です。

公共施設を建て替えようとするれば莫大な資金がかかるので、それをどうするかということも検討していかなければいけません。

市民の皆様の意見を広く聞き、江南市に合った図書館を整備していかなければいけないと考えます。

**問** 10万都市の江南市としては、現在の図書館は狭くて貧弱であり、平成26年度に市議会の図書館問題特別委員会が研究されているが、なぜ図書館ができないか。

**答** 図書館は文化のバロメーターであることから、市議会の会派や委員会である全国の図書館を視察研修することにも、市長の施政方針の中にも新図書館建設があります。しかし、財政面、建設場所等の課題もありますので、議会として引き続き、調査研究を重ねていきます。

**要望** 自分子どもには沢山本を読んでもほしい。そのためには、身近な施設で利用できるありがたい。防犯対策などの課題が考えられるが、学校図書を市民へ貸し出すことを検討してほしい。

**要望** 小さな子どもには、沢山本を読んでもほしい。読書することが財産になる。現在の図書館でも新しい綺麗な本を揃える等内容を充実させてほしい。

**意見** 図書館は市の知育・情操を育てることの基本となる施設であり、とても大切な施設だと思ふ。

**意見** 小さな規模の図書館であっても、プロデュースの仕方で素晴らしいサービスを提供することができると思ふ。



▼治水対策について

**問** 平成23年8月の集中豪雨から日光川水系では、どのような治水対策が施されたのか。

**答** 日光川上流の改修や貯留施設を含めた治水計画の見直しを県に求めるよう、地域の皆様、議会及び市当局が一体となって進めているところです。

▼防災対策について

**問** 飛高区は、お年寄りを避難させる場所をつくっていると聞いているが、その経緯はどうか。

**答** 飛高区は、区とは別組織の防災会があり、避難優先度の高いお年寄り、妊婦、赤ちゃん等を飛高会館へ避難させる計画があります。しかし、個人情報等の問題があり、そうした全体の人数が把握できないため、地域で見守り、支え合う体制を構築していく必要があるなどの課題も生じています。

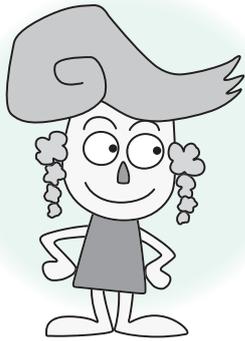
**問** 区長の業務を行うためには、地元住民の情報が必要だが、アパート・マンション等は管理会社によって対応が異なる。条例等により住民の情報提供をしてもらうことはできないか。

**答** 災害対応等でも要援護者・生活弱者の情報を把握する必要があると考えますが、現状と取り得る対応策について市当局とも協議してまいります。

**問** 民生委員に対して、支援の必要な人の情報が市から共有されていないのではないかと。かつての村社会から個人主義になりつつあり、地域住民の顔が見えない時代になっている。行政が地域のネットワーク作りを積極的に行ってほしい。

**答** 長野県白馬村で地震が起きた際には、地域で災害弱者や、各家庭の寝室の場所等の情報共有により、迅速な救助活動・安否確認がされた例もあり、地域での情報共有は大切と考え、市当局とも協議してまいります。

# 市民と議会との意見交換会を開催しました



▼財政の歳入、歳出について

**問** 江南市の歳入が約291億円、歳出が約281億円ですが、この差額がどのように処理されているのか。

**答** 歳入歳出の差が約10億円あるわけですが、半分は財政調整基金に積んで、後の半分は繰越金として翌年の歳入に計上して、市政に反映されています。

**問** 江南市の政策は継続性がなく、中途半端が多いと思うが、財政をふやす政策を議員に問いたい。

**答** 市街化区域が現状25%程度で、編入して50%にし、さらに企業誘致等が図られれば試算上財政力指数が1・0に近づく可能性がある。ただ、市街化区域の拡大は規制があり難しいので、155号線の沿線の開発や布袋駅東側の市街化編入も考えられます。

国全体の税収をふやすようなことと、合わせて江南市の税収をふやす産業活動が必要であり、市民一人一人の所得をふやすような仕組みを構築していきます。

## 市民 1 人当たりの主な支出の状況



議会費  
2,907 円



総務費  
38,743 円



民生費  
111,199 円



衛生費  
23,184 円



労働費  
1,234 円



農林水産業費  
1,837 円



商工費  
3,334 円



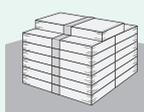
土木費  
28,705 円



消防費  
11,450 円



教育費  
31,161 円



公債費  
24,065 円



災害復旧費  
0 円

※平成 26 年度決算ベース

市民 1 人当たりの支出合計は、  
27 万 7,819 円となります。

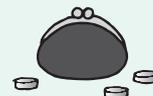
## 市民 1 人当たりの市税負担の状況



市たばこ税  
6,073 円



都市計画税  
5,822 円



市民税  
(法人市民税含む)  
60,163 円



固定資産税  
49,993 円



軽自動車税  
1,525 円

市税全体の市民 1 人当たりの負担は、  
12 万 3,576 円となります。

**問** 企業誘致基本方針に伴って、従来定める緑地面積を大幅に緩和し、環境を犠牲にしてまでやることはないと思うが、議員の意見を求める。和田の工業団地が15年程前に完成したが、税収の増収、雇用の確保、市内企業の移転先確保が企業誘致の目的であると思う。求めるほどの成果は上がっていないのに、固定資産税等の補助制度を使ってどのような企業誘致をするメリットがあるのか。

▼企業誘致について

**答** 企業誘致基本方針に伴って、従来定める緑地面積を大幅に緩和し、環境を犠牲にしてまでやることはないと思うが、議員の意見を求める。和田の工業団地が15年程前に完成したが、税収の増収、雇用の確保、市内企業の移転先確保が企業誘致の目的であると思う。求めるほどの成果は上がっていないのに、固定資産税等の補助制度を使ってどのような企業誘致をするメリットがあるのか。

**問** 市債について

**答** 毎年、どれだけ市債を発行し、その累計はどれだけか。また、その増減傾向はどうか。

▼市債について

**答** 平成26年度の市債は、29億3520万円です。累計総額は、一般会計と公共下水道を合わせて、336億7116万円です。増減傾向としては、毎年、同程度の市債を発行していますが、国の借金の肩代わりである臨時財政対策債がふえている傾向が強まっています。

▼歳入を増加させる施策の実施について

**問** 小牧市の法人市民税は約37億円、江南市は約6億円と聞いているが、江南市も歳入増となるような施策を実施していくべきではないか。

▼市では安良・今市場地区で規制緩和

**答** 市では安良・今市場地区で規制緩和を行い、企業が工場等を立地できるようにしました。また、4月からは企業誘致の専属の部署を設ける組織再編を行い、市の歳入増を図る施策を検討・実施します。

**答** 江南市の活性化を図るには雇用の確保が不可欠で、ある程度は企業が進出しやすい形態にする必要があります。

**問** 企業誘致をしていくには、都市計画法に基づくと市街化調整区域の見直しをしていく必要があるのではないか。

**答** 市街化区域は全体の25%程度で、市街化区域をふやしていくにはさまざまな条件をクリアしていかなければいけないので、今後の課題として努力していきます。

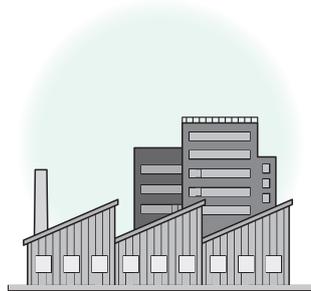
**問** 安良地区を工業地域として、活用したい企業がある場合、例えば2haを4人で所有している内の1人が反対した時は江南市が買収に参加するか。また、有害物質を出す企業の調整は江南市がするか。

**答** 和田の工業団地のように市が土地を買収して行うのではなく、企業と地主さんが交渉して企業を誘致する形態になっています。地権者と企業との交渉になるので、この問題は今後の検討課題です。また、企業については、どのような業種なら誘致できるか決められています。

**要望** 企業誘致を進め江南市を活性化しようとする多数声があつたが、いろいろな建物を建設するのではなく、奨学金を活用した人材育成に尽力していただきたい。

**要望** この企業誘致の制度では、大きな企業しか進出できず、市内の企業は進出しにくい。もつと市内企業が進出しやすい制度に改めるべきでは。

▼和田の工業団地について  
**要望** 誘致企業からの法人市民税の税収累計を、中間総括として報告していただきたい。(後日確認したところ、平成26年度までの累計額は、約6億6010万円とのことでした)



▼公共施設の手数料見直しについて  
**問** 公共施設の手数料見直しとあるが、これは値上げではないか。

**答** 有料、無料の施設が混在しており、公正公平の観点から一度見直しなればいけないと考えます。

▼小・中学校のトイレについて  
**問** 全ての小・中学校のトイレに行つたわけではないのでわからないが、保護者の意見を聞くという、暗いとの声が多数上がっている。耐震改修が終わつているので、新しい建物を造るのは難しいと思うが、トイレだけでもきれいにすることはできないか。

**答** 大規模改修が終わつている古知野中学校等のトイレはきれいになっています。部分的にしか改修の終わつていない古知野南小学校等はまだまだですが、今後大規模改修に合わせて工事を進めていきます。

▼道路の通行危険箇所について  
**問** 空き地に草が生い茂り、視界不良となっております。市の職員が通勤等道路・カーブミラー等に問題を見つけても放置し、対応していないのではないかと。市の職員へは、実態を把握し、対応するよう伝えます。この件は、区長さんを通じて修繕の必要な箇所等について要望を伝えることができます。

▼交通事故対策について  
**問** 宮田地区の県道である深妙寺東堤防の急カーブは、過去に交通事故死亡者を出し非常に危険であるため、道路上に危険標示をお願いしたい。

**答** 危険であることは認識していただきます。で、県に要望していきます。

▼消防施設について  
**問** 市の北部地域は、救急車要請時に消防署本署からの出動であるため、あまりにも時間が掛かる。布袋地域の東分署のような消防の拠点がある地域にも必要ではないか。また、その計画はあるのか。

**答** 以前には、北分署計画の構想がありましたが、消防広域化の計画もあり、現在は立ち消えています。火災に関しては、消防分団車庫があり対応できますが、救急に関しては、救急車1台だけでも支所等の施設に配備できるように市へ要望していきます。

## アンケートを実施しました

今後の運営の参考とさせていただきます。ご来場の方々にアンケートをお願いしましたところ、85人の方にご協力をいただきました。

「意見交換会を何で知りましたか」の問いには「広報こうなん」が一番多く、次いで「議員・知人の紹介」「地区回覧」という結果でした。「開催日時」については、概ね参加しやすかつたとの回答でした。

このアンケートの結果を踏まえ、次回意見交換会を開催します。詳細が決まりましたら、広報こうなんや市議会ホームページなどでお知らせします。なお、今回の意見交換会の内容は、市議会ホームページでも掲載していきます。ご覧ください。

活発な意見交換会とするため、次回も多くのご参加をお待ちしています。

